

*The
First Baptist Church
In America*

アメリカ第一バプテスト教会

セルフガイドツアー

Japanese 日本語

THE FIRST BAPTIST CHURCH IN AMERICA
アメリカ第一バプテスト教会
75 North Main Street
Providence, Rhode Island 02903

アメリカ第一バプテスト教会によろこそ。ここはアメリカで一番古いバプテスト教会であり、1638年、今からおおよそ 380 年以上前にロジャー・ウィリアムズ (Roger Williams) によって設立されました。200 年以上経っている現在の礼拝堂はアメリカ独立革命の直前、1774 年と 1775 年に建てられました。この教会は誇らしい過去、活力に満ちた現代、そして希望にあふれる未来を持っています。ミーティングハウスを見学する間、この時を一緒に過ごしましょう。

このセルフガイドツアーは教会の簡単な歴史、そしてミーティングハウスの歴史的あるいは建築的な面を説明します。

まずマニングルーム (Manning Room) から始めましょう。この名前はブラウン大学の初代学長でもあり現在の礼拝堂が建てられた時の牧師でもあったジェームズ・マニング博士 (Dr. James Manning) を記念して名づけられました。



この教会の歴史はロジャー・ウィリアムズ (Roger Williams) から始まります。彼は 1630 年代に宗教的、政治的迫害を逃れるために英国からアメリカにやってきた 15,000 人以上の清教徒（ピューリタン）の一人でした。これらの人々の多くはマサチューセッツ湾植民地を作るためにアメリカにやってきました。ロジャー・ウィリアムズは 1629 年にアメリカへの移住に参加しました。彼は指導者達と友人であり、その中には最初の知事であったジョン・ウィンスロップ (John Winthrop) がいました。しかしながらウィリアムズはボストンを設立するために 1630 年の夏に着いた清教徒の第一波ではありませんでした。彼は 1631 年 2 月にアメリカに着き、すぐに自分の植民地に対する考えが他の人の見解と違うことに気がつきました。

ウィリアムズはボストン教会が完全な英国国教会との分離派ではなかったもので、副牧師の任命を辞退しました。そして、以前一時的にプリモス植民地に移った時に滞在していたセイラム (Salem) に向かいました。教会の牧師になるために、セイラムに戻る前にプリモス (Plymouth) に約 18 か月滞在しました。そこで彼は公共の権威は宗教と良心を邪魔するものではないと言う精神の自由の教理を説教し始めました。神への崇拝は宗教の自由を求めるという政教分離を主張したのです。ウィリアムズのこの考えはマサチューセッツ湾植民地の宗教的、政治的な基盤を脅かしました。また、最初に先住民から購入されなかった移住者の土地の権利を英国国王が持っているというのは「厳粛なる公の虚構」であると公言したのです。この考えは植民地内の土地所有権の法的義務に対する挑戦であり、植民地の経済基盤を脅かしました。

1635 年までにウィリアムズは急進的な考えを持っているとみなされ、扇動、異論、植民地への忠誠の誓いを怠ったということで有罪にされました。英国への追放命令が下されましたが、ウィリアムズは 1636 年 2 月に雪の中を歩いてセイラムからナラガンセット湾 (Narragansett Bay) に逃げ、そこで友好的なワンパノアグ族とその冬を越しました。次の春、ウィリアムズとセイラムの仲間はシーコンク川 (Seekonk River) を渡り、ナラガンセット族から購入した土地に居住し始めました。その地は「プロビデンス (Providence)」(神の摂理) と名付けられました。神がウィリアムズたちを支えこの地に連れてきた、という考えからこの名前を付けたのです。この植民地ではすべての人に信教の自由が与えられました。良心に苦しんだ全ての人はプロビデンスで精神の自由を見つめることができたのです。

英国で正式に牧師として任命されていたウィリアムズは間もなく彼の家で定期的な礼拝を行い、約 2 年後、この小さな集会はアメリカで初めてのバプテスト教会となりました。元英国国教会司祭、元清教徒、分離派であるロジャー・ウィリアムズはバプテストになったのです。彼は幼児洗礼ではなく「信仰者の洗礼」を信じました。ウィリアムズは新たに信徒に洗礼を授け、この教会の最初の牧師となりました。しかしながら彼の魂の遍歴はここで終わりませんでした。彼は既存の機関それ自体を教会と呼ぶことができるのかと疑問を持ったのです。それは紀元 390 年頃ローマ皇帝、テオドシウス (Theodosius) がキリスト教を帝国の国家宗教とした時に教会は消滅した、という考えに基づいています。教会のすべての儀式と慣習は無効となり墮落すると信じました。1639 年夏、ウィリアムズは職を辞しましたが、自分の作った教会は聖書をもとにしているという考えを亡くなるまで慈しみました。彼は信教の自由を守ることに忠実であり、彼の影響は 17 世紀のロードアイランドを宗教の自由という特殊な地にしました。

ウィリアムズが去った後も小さなバプテスト教会は残りましたが、1700 年まで礼拝堂はありませんでした。その年にパードン・ティリングハスト (Pardon Tillinghast) という牧師がノースメインストリートの現在の場所から数ブロック離れた自分の土地の一角に礼拝堂を建てました。1726 年には多くの信徒を収容するために 2 番目のより大きな礼拝堂が建てられました。プロビデンスは 18 世紀半ばに発展し続けました。そして大覚醒 (グレートアウェイクニング) はニューイングランドでバプテスト信者を増やしま

した。1774年と1775年、ついに現在の礼拝堂が建てられました。その規模と美しさはプロビデンスのバプテストの仕事の指示がジェームス・マニング博士 (Dr. James Manning) の精力的な指導の下で行われたことを示しています。

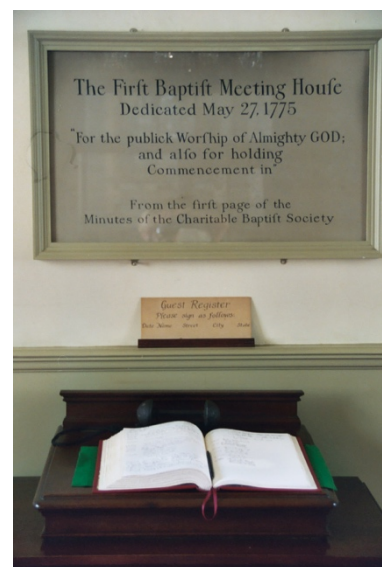
マニング博士はフィラデルフィアバプテスト協会からバプテスト大学の設立とニューイングランドのバプテスト教会のいくつかを一般バプテスト協会にまとめることを目的として、ロードアイランドに派遣されました。その結果、1764年にブラウン大学が設立され、ウォーレンバプテスト協会 (Warren Baptist Association) が始まりました。1770年に大学はプロビデンスに移転し、カレッジエディフィス（現大学ホール）が建てられました。マニング博士はプロビデンスのバプテスト教会の牧師になりました。彼の牧師としての業績の一つはミーティングハウスの設立です。

最初にミーティングハウスが建てられた時、一階には丘の中腹に粗末な貯蔵庫が掘られているだけで部屋はありませんでした。町の霊柩車はそこに保管され、必要な時に正面玄関から出されました。地元の実業家は時々その場所を倉庫として借りていました。例えば町の葬儀屋は一度そこにラム酒の樽を保管していました。1819年、ついに日曜学校が始まりました。そして地下を掘って教室が作られました。

1957年にミーティングハウスが改築、復元された時、この部屋は現在のように改装され、マニング博士に敬意を表してマニングルームと名付けられました。ケースの中の様々な物や記憶に値する事柄がありますのでご覧ください。この中には1957年の改築時に軒の下で見つかったロジャー・ウィリアムズの使った薬缶、デクスター (Dexter) 家の聖書、植民地時代のハンマーがあります。また1830年に灯りとして使った鯨油ランプ、講堂のシャンデリアを釣り合わせるために使った砲弾があります。

どうぞミーティングハウスの講堂にお進みください。

休憩室のゲストブックにお立ち寄りください。



ゲストブックに署名した時、前の壁に掛けてあるプレートに気が付きましたか。ミーティングハウスの別の役割が書かれています。これは1775年5月27日に奉納されたもので、「**全能の神の公の崇拜のために、そしてまた卒業式をするために**」と記されています。ミーティングハウスの完成から現在までブラウン大学はここで卒業式を行っています。卒業式の日に4年生は丘を下りて来て正式に学位（卒業証書）をもらいます。そして式の残りが行われる所まで丘を登っていきます。今は学生数が増えたので、友達、家族、教員の座る場所がないからです。

さあ、講堂に入りましょう。部屋の前に進んでください。

この講堂は均衡、論理、対称という18世紀の建築学的価値感と啓発運動の時代を表しています。ここで見るものは「ジョージアン様式」と呼ばれている植民地時代のアメリカの最も優れた例です。この様式は英国王ジョージ一世と二世の統治期間に広まったのでこの名前がついています。このスペースはニューイングランドの簡素な礼拝堂を再現しています。これは部屋が正方形（24m x 24m）で、概して質素な飾りつけ（白い壁、透明な窓、十字架、彫像、聖像がない）であり、非改革教会には祭壇がある所に、ここには説教壇があるということになります。

植民地時代のほとんどのアメリカの建設者は公式の建築学の訓練を受けていませんでしたが、イギリスやヨーロッパの建築家の書いたパターンや設計の本を使っていました。この礼拝堂の建築家であるジョセフ・ブラウン (Joseph Brown) は偉大な英国建築家クリストファー・ウェレン卿 (Sir Christopher Wren) の弟子であるジェームズ・ギブス (James Gibbs) のブック・オブ・アーキテクチャー（建築学の本）1728年版を使いました。ギブスが設計したロンドンの2つの教会、セント・マーティン・イン・ザ・フィールズ (St. Martin's-in-the-fields)（英国国教会の教会）とメルルボーン礼拝堂 (Marylebone Chapel) の設計はこの礼拝堂の外観に影響を与えています。例えばこの尖塔はギブスの設計の一つを模写しています。

ジョージアン様式の古典的な個所、古典的柱に似せて掘られた縦溝彫りの円柱、説教壇の上にあるパラーディオ窓、ドアの上の壊れた三角形のペディメント（破風）、炎のもようのある壺、バルコニーのへりに沿って走る螺旋の「ミアンダー（蛇行）」、柱と窓とドアの対称と均衡を見てください。



それぞれの柱は固いオークでできています。ミーティングハウスが建てられた時、ある人はお金を出し、またある人は労働力を提供し、そのほかの人はこれらのすばらしい木を寄付しました。左後方にある柱を見ると、木の固い部分に老化と乾燥の影響が分かるでしょう。円柱は割れてさかれ、装飾の縦溝がゆがめられました。この建物は最初の50年間暖房がありませんでした。それで円柱は暑さや寒さの影響を受けたのです。さて、右の通路の後ろの柱を見てください。傾いているように見えます。これは木目に沿って彫られた螺旋状縦溝彫りによっておこる目の錯覚です。彫刻はすべて手で行われました。



独立革命の前夜に起きたマサチューセッツの政治的問題はミーティングハウスに有利に働きました。1773年2月にボストンティーパーティー（茶会事件）が起きました。そしてイギリスは1774年春に強制諸法で返答しました。その一つとしてボストン湾が閉鎖されました。その結果、ちょうどこの建物を建て始めた時、ボストンの船建設者や大工は暇になりました。これらの多くの人たちはプロビデンスに仕事をしに来ました。そこには当時全ニューイングランドで最大の建築プロジェクトがありました。

53mの尖塔はたった3日半で建てられました。これは下で部分ごとに作られ、持ち上げられました。望遠鏡が伸びるように一つの部分に他の部分をはめて組み立てたのです。1775年以来冬の間もハリケーンが来ても持ちこたえています。プロビデンスで数少ない稲妻にも風にも負けない尖塔です。2002年9月にこの尖塔全体は初めて点灯され、それ以来夜の街のビーコン（目印）になっています。

この建物は植民地時代に建てられた最も大きい教会の一つです。プロビデンスにあります。1775年に1,200人座れるようになっていました。人口4,321人、その内バプテスト信者は150人にも満たなかったのです。教会は過去数十年に植民地中に広がった復興の結果として信者が増え続けると予測しました。また、この建物は新しいバプテストカレッジ（ブラウン大学）の卒業式を行うために建てられたということを思い出してください。建設者の幾人かはプロビデンスの町の有力者でした。彼らはこの町自体を彼らの期待に応えさせるために礼拝堂を作りたかったのです。この建物は1760年から1820年の間に建設された最も大きい建物の一つでした。プロビデンスはニューポートに挑戦し、追い抜き、南ニューイングランドの主要都市になりました。

ミーティングハウスが建てられた時、バプテスト信者は楽器を使いませんでした。ギャラリーにあるパイプオルガン（以下オルガン）は後日に置かれたものです。小さな2番目のバルコニーがあった所にオルガンが置かれました。マニング博士は1770年代に集会の歌を復活させました。楽器としては1804年にチェロが初めて使われました。1834年にオルガンがボストンのエリアス・フックとジョージ・フック



ク (E. & G.G. Hook) によって設置されました。風箱（オルガンボックス）は当時のものです。オルガン自体は1884年にヒルボーン・ルーズベルト (Hilborne T. Roosevelt)、1920年代にスキナーオルガン会社 (Skinner & Co.)、1957年にウィクスオルガン会社 (Wicks Organ Co.)、そして2000年にフォレイバーカーオルガン会社 (Foley-Baker Organ Co.) により再建され大きくなりました。



1930年代までにメインフロアーの信徒席は家族や個人に貸し出されたり所有されたりしていました。席の賃貸料は牧師やオルガン奏者、教会事務員の給料、またはこの建物の一般経費として使われました。「一番高価な場所」は中央の前席でした。席を所有または借りることのできない人はバルコニーの無料の席に座ることができました。しかし今は個人の席がありません。元来は正方形で背もたれが高い席でしたが、1832年に現在の「細長い席」に取り換えられました。信徒席の下にある小引き出しは眼鏡、手袋、聖書、讃美歌集、その他個人の物を入れるためにあります。

通路に沿って左、部屋中央にあるシャンデリアの反対まで歩いてください。

この貴重なシャンデリアは1792年にホープ・ブラウン (Hope Brown) が父親の思い出として寄贈しました。彼女の父親、ニコラス・ブラウン (Nicholas Brown) はこのミーティングハウスが建てられた時の教会の主要人物の一人でした。このシャンデリアはおそらくアイルランドのウォーターフォードガラス会社 (Waterford Glass Company) 製作のもので、ホープ・ブラウンとトーマス・ポイントン・アイブス (Thomas Poynton Ives) の結婚式の時初めて点灯されました。元来蝋燭が使われましたが、1884年にガスに代わり、1914年に電気に代わりました。1850年代に多くの大きなガスシャンデリアが天井から吊るされましたが、1880年代に取り外されました。



説教壇の高さから講堂の正面を見ると、1957年に修復されたままの姿が見えるでしょう。19世紀に渡って元来の高い説教壇、パッラーディオ窓と周りの木—説教師の声が天井から跳ね返るのを守るために説教壇の上にぶら下がっている平たいもの—は取り除かれました。1884年に建物の後ろと付け柱に囲まれている場所に小さな増改築がありました。そしてアーチは大きいビクトリア様式の洗礼堂とステンドグラスの窓が見渡せるようになっています。窓は簡素な礼拝堂様式とは不釣り合いだったので、その後覆われました。建物の外に行けばこの窓が見えます。1957年の修復で壁、パッラーディオ窓、高い説教壇、共鳴板が元に戻されました。現在洗礼堂は窓の後ろにあり、説教壇は高い位置になり、全信徒が見えるようになりました。



ミーティングハウス見学の終わりに。見学の記念品として下に降りてお土産をお買いください。また募金箱が備え付けてありますので、この歴史的教会を保存するための寄付をお願いします。

この小冊子を事務所にお返しください。質問等あれば事務員が喜んでお手伝いします。アメリカ第一バプテスト教会に来てくださり、ありがとうございました。またいつか、私たちと共に礼拝に出られることをお祈りします。

年 譜

- 1638 ロジャー・ウィリアムズ (Roger Williams) と彼の仲間がアメリカ第一バプテスト教会を設立した。それ以来「精神の自由」は合言葉となり続けている。
- 1692 第一バプテスト教会はアメリカで最初のバプテスト協会である一般的六原則バプテスト協会を組織するのを助けた。
- 1700 当時の牧師であったパードン・ティリングハスト (Pardon Tilinghast) は個人の資金でノースメインストリートにある自分の敷地内に礼拝堂を建設した。
- 1726 新しい礼拝堂、12m x 12m、が最初の教会の隣のノースメインストリートとスミスストリートの角に建設された。
- 1774-75 慈善バプテスト協会は植民地議会から土地所有の認可を得た。それにより牧師の支援をした。その後早急に現在のミーティングハウスの建設が始まった。この建物は 1775 年 5 月に完成し、「全能の神の公の崇拜のために、そしてまた卒業式をするために」と掲げている。講堂は 24m x 24m で 1,200 人座れる席がある。尖塔の高さは 56m である。
- 1782 第一バプテスト教会はニューイングランドで最初の一般バプテスト協会であるウォーレン協会 (Warren Association) に加入し、その指導者とみなされた。第 15 代牧師、ステファン・ガノ (Stephen Gano) は 1805 年から 1824 年までモデレーター (議長) を勤めた。
- 1792 大きいクリスタルのシャンデリアがアイルランドから持ってこられ、設置された。
- 1805 第一バプテスト教会はプロビデンスの第二バプテスト教会の設立に寄与した。その時から 1919 年までにプロビデンスに 12 堂の教会の設立に寄与している。
- 1806 ニュートン工科大学 (Newton Theological Institution) とアメリカバプテストホームミッション協会 (American Baptist Home Mission Society) の設立を導いたジョナサン・ゴーイング (Jonathan Going) は 1806 年にここで洗礼を受け、1809 年に第一バプテストから牧師の資格を得た。
- 1807 第一バプテスト教会の女性が女性マイト協会 (Female Mite Society) を設立した。これはロードアイランドで初の伝導協会である。この考えは他のロードアイランドの教会にも伝わり、彼らの地元での伝導は 1825 年にロードアイランドバプテスト州大会 (Rhode Island Baptist Convention) を開催するに至った。
- 1814 ステファン・ガノはニューイングランドからアメリカで初のバプテストの国内大会であるフィラデルフィアの集会に参加する 4 人の代表団の一人であった。バプテスト派の一般伝導大会 (ジェネラルミッションナリーコンベンション) はアドニラム・ジャドソン (Adoniram Judson) とアン・ジャドソン (Ann Judson) の海外宣教活動を支援した。

- 1819 青年団はミーティングハウスの礼拝室で日曜学校を開催した。それで日曜学校の使用のために地下を掘ることとなった。
- 1825 ロードアイランドバプテスト州大会はミーティングハウスで始められ、ステファン・ガノ (Stephen Gano) が最初のペレジデント（会長）となった。
- 1830 年代 次のような講堂の増改築があった。説教壇の高さが低くなり、四角い信者席が細長くなった（1832）。パイプオルガンが設置された（1834）。内部の洗礼堂は説教壇の床下に置かれた（1838）。
- 1884 建物の東に次のような増改築があった。新しい洗礼堂とステンドグラスの窓が設置された。オルガンが再建され大きくなった。天井が数色で塗られた。
- 1938 300 周年記念で教会は正式に「アメリカ第一バプテスト教会」（First Baptist Church in America）という名前を採用した。
- 1957-58 ジョン・ロックフェラー・ジュニア (John D. Rockefeller, Jr.) からの助成金ですべての建物が修復、補教された。ペイントは 18 世紀の色にされ、説教壇が高くなった。
- 1980 年代 尖塔、外壁、拝殿が再び修復された。
- 1988 アメリカ第一バプテスト教会が 350 周年記念を行った。
- 2000 オルガンがフォーレイ・ベイカー会社 (Foley-Baker Company) によって再建された。
- 2001 尖塔が初めて完全に点灯された。
- 2013 アメリカ第一バプテスト教会が 375 周年記念を行った。
- 2015 ジェイミー・ワシャム (Jamie Washam) が教会の 37 代牧師に任命された。